

平成 20 年度

「チーム名東」
活動報告書

名古屋市名東区役所
椋山女学園大学教育学部

はじめに

この報告書は、名古屋市名東区役所と椋山女学園大学教育学部が連携して、平成 20 年 6 月から現在にいたるまで活動を行ってきた「チーム名東」の活動報告書です。「チーム名東」とは、地域コミュニティ作りを応援する学生集団であり、椋山女学園大学教育学部の 1・2 年生の 27 名が参加しています。平成 20 年度は、以下のふたつの活動を行ってきました。

名東区が主催する各種イベントに参加し、取材して広報活動のお手伝いをするとともに、今後の改善策について提案していく。

名東区民を対象としたアンケートを実施し、地域の現状を知るとともに、地域コミュニティ作りのための具体的な提案をしていく。

本報告書は、上記の 2 つの活動の成果をまとめたものです。

(1)取材活動に関して

これまでに、名東区内で開催されたさまざまな活動取材し、そのレポートは名東区役所のホームページや椋山女学園のホームページに掲載されています。

(参考)名東区のホームページ：<http://www.city.nagoya.jp/ku/meito/>

椋山女学園大学教育学部のホームページ：<http://www.edu.sugiyama-u.ac.jp/>

学生たちにとって、今までは少し遠い存在であった「地域」を身近に感じ、自分たちがこれからいかに地域を支えていくのかということをも自分の問題として捉え、一市民としての自覚と責任感を得ることのできる貴重な機会となっているようです。以下に学生の感想を 2 つご紹介したいと思います。

チーム名東に参加して(教育学部 1 年生 辻由佳)

私はチーム名東の一員として、都合のつく限り、取材活動に取り組んできました。私はこれまでもずっと名東区民でしたが、名東区主催の催しには参加したことがありませんでした。しかし参加してみるとどれもとても楽しい有意義なものばかり！こんなにも地域のことを考え、地域を支えている人がたくさんいることに驚くとともに、「こんなにもよい活動があるのだから、できるだけ多くの方に参加してもらいたい！」という気持ちが強くなりました。私たちの取材活動が、その手助けとなるなら嬉しいです。はじめての活動に参加するのは少し勇気がいりますが、その一歩は踏み出してみるとそんなに難しくない。そしてその先にはたくさんの出会いと学びが待っている！そんなことを教えてくれたチーム名東の活動です。

チーム名東に参加して（教育学部 1 年生 守永光希）

私は今まで地域づくりの活動に参加したことがありませんでしたが、チーム名東の活動で色々な行事に参加するなかで、名東区にはたくさんの地域づくりの行事があり、地域のために頑張っている人たちが大勢いることを知ることができました。取材した「生き物イキイキフェスタ」は、2010年に名古屋で開かれる COP10 を区民のみなさんに知ってもらうためのイベントで、幅広い年齢層の人たちが参加し、環境問題について考える良い機会になっていました。地域のお年寄りが子どもたちと給食を食べる「ふれあい給食会」では、栄養教諭の方が高齢者のための食事の注意点についてお話しされ、その後、小学生とお年寄りが一緒に給食を食べました。参加者にインタビューすると、多くの方が、近年、近所の交流が減りつつあることを問題に感じられているようです。プライベートも大切ですが名東区が開催しているようなイベントをきっかけにして地域交流の輪が広がっていくとよいのに、と感じています。

(2)名東区民アンケートについて

一方、名東区民アンケートは、名東区内 19 の小学校に通う 5・6 年生の児童とその保護者にご協力いただき、平成 20 年 10 月に実施しました。アンケートの実施においては、8 月と 9 月に調査項目の決定とアンケート用紙の設計、10 月に小学校の全面的なご協力を得ながらアンケート調査の実施、11 月にデータ整理と分析、報告書原稿の執筆と大変タイトなスケジュールながら、学生が一丸となつてがんばり、なんとか「区民のつどい」までに、区民のみなさまの生の声をまとめることができました。作業にあたってくれた学生は、区民のみなさんが地域についての確かな問題意識を持ち、よりよい地域コミュニティの実現のために熱心にアイデアを記入してくれたこと、特に子どもたちが、地球環境やゴミ問題について高い関心を持ち、未来の名東区を担うひとりとして、さらに地球市民のひとりとして、今後どうすべきかを真剣に考えていることを知り、大変に感銘をうけたようです。

この活動は、名古屋市名東区役所区民生活部の主幹（安心・安全で快適なまちづくりの企画）加藤里香さんと主査の三宅正嗣さんの全面的なご協力により可能になったものです。加藤さんには取材活動のコーディネート、三宅さんには名東区アンケートのサポートを全面的にさせていただきました。ここに記して感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

また、「チーム名東」に参加していた学生さんは、授業や課外活動で忙しいなか、「地域に役立つ活動をしたい」という熱意をもってボランティアで集まってくれました。夏休みや土日祝日であっても取材に出かけてくれて、詳細なレポートをまとめてくれました。そ

の成果はこの報告書に示されているとおりです。授業の単位にもならない、報酬が出るわけでもないこの活動に、時間と労力をおしみなく注いでくれた学生さんたちに、感謝の気持ちをお伝えしたいです。

また最後になりましたが、私達が取材にうかがったときに気持ちよく取材に応じてくださった区民のみなさま、お忙しいなか区民アンケートに誠実にお答えくださった児童と保護者のみなさまに心より御礼申し上げます。

「チーム名東」の活動が、区役所と若者が協力して、住みよいまちづくりをめざす新しい試みとして注目され、ひとつのモデルとして育っていくこと、そしてこの報告書が、地域コミュニティの活性化に役立つことがあれば、この上ない幸せです。

平成 20 年 11 月 24 日

椋山女学園大学教育学部准教授
山田真紀（チーム名東代表）

チーム名東 2008 メンバー

【2年生】

一谷梨絵、岩間絵里佳、太田裕万、加藤美奈、川島麦穂、木下綾子、草田梨愛、寺西彩乃、長谷川真咲、原田恵里

【1年生】

大村理恵、串田千菜美、恒川典子、二村美帆、牧淳美、村上郁、森友紀、吉川美咲、渡邊裕木、市川かさね、片桐千尋、辻由佳、早川祐季、堀なつ美、松岡彩、守永光希
渡邊朱

【注】アンケートのデータ入力および分析において尽力してくれたメンバー

岩間絵里佳、牧淳美、渡邊朱美、森友紀、二村美帆、長谷川真咲、一谷梨絵、松岡彩、早川祐季、大村理恵、辻由佳、村上郁、寺西彩乃、原田恵里、守永光希、太田裕万、堀なつ美、吉川美咲、渡邊裕木、恒川典子

目次

はじめに

第一部 取材報告書

(1) 取材報告新聞

(2) 学生の取材ノート

- ・ 響け！名東のうた「わがまち名東」フェスティバル
- ・ 名東 生き物イキイキフェスタ～盛り上げよう！COP10～
- ・ 自然散策会
- ・ みんな集まれ！寺子屋 in 平和が丘
- ・ 区民芸能まつり
- ・ 敬老（ふれあい）給食会
- ・ 名東図書館にしてみよう！不用図書リサイクル会
- ・ お楽しみ演芸会
- ・ ふれあいウォーク名東
- ・ 通学路ウォーキング

第二部 名東区民アンケート

(1) 調査概要

(2) 調査結果の概要（保護者）

(3) 調査結果の概要（児童）

(4) 付録

1. 調査の依頼状
2. アンケート用紙（保護者）
3. アンケート用紙（児童）
4. 基礎集計表
5. 自由記述欄

第二部

名東区民アンケート

- (1) 調査概要
- (2) 調査結果の概要（保護者）
- (3) 調査結果の概要（児童）
- (4) 付録
 - 1．調査の依頼状
 - 2．アンケート用紙（保護者）
 - 3．アンケート用紙（児童）
 - 4．基礎集計表
 - 5．自由記述欄

第一部

取材報告書

(1) 取材報告新聞

(2) 学生の取材ノート

- ・ 響け！名東のうた「わがまち名東」フェスティバル
- ・ 名東 生き物イキイキフェスタ
- ・ 自然散策会
- ・ みんな集まれ！寺子屋 in 平和が丘
- ・ 区民芸能まつり
- ・ 敬老（ふれあい）給食会
- ・ 名東図書館にしてみよう！不用図書リサイクル会
- ・ お楽しみ演芸会
- ・ ふれあいウォーク名東
- ・ 通学路ウォーキング